

不審なメールにご注意ください

一般社団法人東日本プラスチック製品工業協会
専務理事 八尋 一恭

平素より当協会の事業運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

先日、新聞で報道されましたように、トヨタ自動車が3月1日、国内の14工場すべての稼働を停止するという事態が発生しました。原因は部品供給メーカーへのサイバー攻撃でシステム障害が発生したため、サーバーのウイルス感染と脅迫メッセージが確認されたそうです。

昨年開催された東京オリンピックの期間にもこうしたサイバー攻撃が多く発生する恐れがあると言われていましたが、昨今の政情不安に乗じて最近こうした被害が増加しているよう見受けられます。最近、会員企業様の中にもコンピューターウイルスによる感染被害が発生しております。つきましては、会員の皆様におかれましては、こうした被害に遭われないよう十分ご注意ください。次ページにこうしたマルウェア(悪意のあるソフトウェア)の簡単な説明を掲載していますので、ご参考にしてください。

(主なコンピューターウイルス感染事例)

1. クレジットカード会社を装ったメール

①「不審な取引があったので、取引を中止した。」や②「サービスは間もなく停止します。」などの理由で、手続きを求めるもの。

2. 宅配業者を装ったメール

宅配便の受取りの確認を求めるもの。

・・・他にも友人や取引先を騙るメールなどいろいろな手口があります。

(対応)

こうした不審なメールが来た場合は、添付ファイルや URL を開いてはいけません。

なお、上記メールもカード会社等の住所や電話番号も正式なものが記載されているなど、巧妙な手口のものが増えています。友人や取引先についても実際存在する先の名前を騙って送られてくる場合がありますので、ご注意ください。ただそうしたメールをよく見てみると、アドレス名がおかしな場合や「代理で送信」とされている場合が多くみられます。

何かご不明な点がございましたら、事務局までご相談ください。(TEL03-3541-4321)

マルウェアについて

1. マルウェア (malware) とは

「悪意のある (malicious)」と「ソフトウェア (software)」を合わせた造語。感染対象者に有害な作用をもたらすことを目的に作成されたソフトウェアの総称。

2. マルウェアの種類

①ウイルス

他のファイルに寄生してコンピュータに侵入し、動作を妨げたり、データを破壊したりするなどの被害をもたらすプログラム。他のファイルやコンピュータに感染することで増殖を繰り返し、感染範囲を広げていく。

②ワーム

ウイルスと異なり、自律的に分身を増殖させていく。感染するとパソコンの動作が重くなるなどの悪影響が生じる。

③トロイの木馬

当初は問題ないプログラムに成りすましてコンピュータに侵入し、あるタイミングで動き出す。プログラムの実行ファイルや画像、文書ファイルなどに偽装する。攻撃者が感染したコンピュータにアクセスするための隠し扉(バックドア)を設けるケースが多い。

④スパイウェア

コンピュータ内の情報やユーザーの情報操作履歴を盗み出し、外部に流出させるプログラム。被害者が感染していることに気づきにくい。ID やパスワードが流出し、不正利用される恐れがある。

⑤ランサムウェア

「身代金(ransom)」と「ソフトウェア (software)」を合わせた造語。身代金の要求を目的として作成される。感染したコンピュータやそのコンピュータに接続したストレージ (パソコンのデータを長期間保管しておくための補助記憶装置のこと。ハードディスクや DVD、CD など) 内のデータが意図せず暗号化される。復旧のために身代金を要求される (必ずしも復旧の保証はない)。

3. マルウェアの感染症状

- ①端末の動作が重くなる。
- ②不審な表示が画面に現れる。
- ③身に覚えのないアプリケーションが動いている。
- ④データが消えたり、暗号化されてしまう。
- ⑤予期しない再起動が増える。
- ⑥設定の変更が反映されない。
- ⑦身に覚えのないメールやメッセージを送っている。
- ⑧個人情報や銀行口座情報等を盗まれる。

4. マルウェアへの対策

- ①セキュリティソフトの活用とパターンファイルの更新
- ②OS やアプリケーションのアップデートの励行
- ③怪しいリンクや添付ファイルを開かない。
- ④日常的なバックアップ
- ⑤マルウェアに係る情報の収集